

日本スポーツとジェンダー学会「論文賞」選考内規

1. この内規は、日本スポーツとジェンダー学会「論文賞」規約（以下、規約）に基づき、論文賞の受賞者を選考する手続きを定めるものである。
2. 規約第7条に定められた論文賞選考委員会（以下、選考委員会）は、論文賞に推薦された業績の研究分野、テーマを勘案して理事会で推薦された本学会会員若干名、編集委員会委員長、顧問、および本内規3に定める論文賞選考担当理事（以下、担当理事）により構成されるものとする。
3. 理事会は、受賞を決定する前年度にあたる偶数年度の2月までに、担当理事を決定する。担当理事は編集委員長、顧問と連携して選考委員会を設置する。
4. 担当理事は、理事会への各種連絡および報告を行うものとする。
5. 選考委員会委員が論文賞に推薦された業績の利害関係者であった場合には、当該業績の審査には関与しない。
6. 担当理事は、選考対象となる著作・論文が確定した段階で、新たに加わる選考委員会委員の構成案を理事会に提出し、これを理事会が審議・決定する。
7. 委員長は選考委員の互選により決定し、理事会に報告する。
8. 選考委員会は、論文賞の推薦に関し、受賞を決定する前年度にあたる偶数年度の少なくとも2月末までに推薦公募について、推薦可能な業績の種類、公表された年月のほか、当該奇数年度における推薦公募の締め切り日を明示する。会長は、これを会員への通知および学会ホームページへの掲載等によって、広く知らせる。
9. 推薦公募の申請書類一式は、日本スポーツとジェンダー学会事務局に送付されるものとする。
10. 推薦公募の申請書類は以下のものとする。
 - (1) 本学会所定の論文賞推薦書1部
 - (2) 推薦する業績の原本または複写1部。
 - (3) 推薦する業績がオンライン上で公開されている場合は、上記(2)に代えて、URLまたはデジタルデータで提出することができる。
11. 選考委員会は、5月1日以降に審査を開始し、選考経過および選考の観点等を明らかにした「選考経過報告書」を添えて、学会総会直前に開催される理事会に論文賞受賞業績を報告する。理事会は提示された論文賞受賞業績の確認を行った後、事務局を通じ、受賞業績執筆者（共同研究の場合は、研究代表者）に受賞の意思および氏名公表の可否を確認の上、総会において表彰を行う。受賞辞退の場合は、当該年度における論文賞の補充は行わない。
12. 論文賞選考の対象とする業績については、原則として次の選考基準による評価を用い選考する。研究の目的、方法、結果、考察、結論、引用文献等について、
 - 1) アイデアの卓越性
 - 2) 先行研究の検討の適確性
 - 3) 研究方法の確実性（信頼性と妥当性）
 - 4) 論文全体にわたる論理の整合性
 - 5) 研究成果の学術的貢献度等について検討し、全体として「スポーツとジェンダー研究」への寄与、発展という観点から評価し、選考する。

- 1 3. 規約第 3 条に定められた副賞は、1 回につき 5 万円相当とし、受賞者が複数名の場合はこの範囲内で均等に分割する。
- 1 4. 選考委員会が論文賞受賞業績に該当するものがないと判断した場合は、その旨を理事会に報告する。
- 1 5. 規約および本内規に定められた以外の事項については、理事会と選考委員長が協議の上、決定する。

付則

この内規は 2011 年 2 月 27 日から施行する。

この内規は 2011 年 10 月 16 日に一部修正する。

この内規は 2016 年 10 月 16 日に一部修正する。

この内規は 2021 年 2 月 24 日に一部修正する。

この内規は 2021 年 10 月 2 日に一部修正する。

この内規は 2022 年 4 月 25 日に一部修正する。

この内規は 2023 年 5 月 22 日に一部修正する。